

ダウンのお手入れ方法

部分汚れ

ダウンジャケットはご家庭用の洗濯機で洗濯をすると、表面の汚れが落ちるだけではなく、羽毛が本来持っている重要な油分も取り去り保温効果が低下する場合があります。軽い汚れであれば中性洗剤を含ませて固く絞った布で汚れを取り除いて下さい。汚れを取り除いた後は、固く絞った布で洗剤を拭き去り、陰干しして乾燥させます。襟、袖口などの汚れやすい部分は特に丁寧にメンテナンスをすることで、クリーニングの頻度を減らすことができます。

着用後のお手入れ

着用後のダウンジャケットは湿気を含んでいるので、風通しの良い場所で十分乾燥させてから保管して下さい。雨や雪で濡れた際には出来るだけ早めに水分をふき取り、ハンガーに掛けてダウンが固まらないよう手でほぐし、形を均一に整えながら陰干してください。アイロン、火、スチームは厳禁です。

クリーニング

ダウンジャケットの汚れがひどい場合や、シーズンの終わりにはクリーニングに出して下さい。クリーニングに出す際には、ダウンジャケットの取扱い経験が豊富なクリーニング店をお勧め致します。ファー付きダウンジャケットの場合は毛皮製品のクリーニング経験も豊富なことが望まれます。また、ファーが取り外せないモデルは、その旨を確実にクリーニング店に伝えて下さい。詳しくは、クリーニング店でもお問い合わせ下さい。尚、過度なクリーニングは、撥水加工の劣化などの原因になります。ご注意下さい。

保管

シーズン終了後やクリーニング後にはハンガーに掛け、不織布カバーなどをして、湿気の低い光の当たらない場所で防虫剤を使用して保管して下さい。できれば夏の間にも1、2度陰干しをすることをお勧め致します。